民放テレビ局における
アーカイブ公開への取り組み

株式会社エー・ビー・シーリブラ
吉水彩　阪田裕規

会社紹介

株式会社エー・ビー・シーリブラ

朝日放送グループ

制作部門

テレビ番組を中心に映像制作を行う
ex.「朝だ！生です旅サラダ」など

アーカイブ部門

・朝日放送のライブラリー部門を担う
開局当初から保管されてきた
約62万本のコンテンツを管理
・**アーカイブ活用事業**にも着手

目次

01 阪神淡路大震災取材映像アーカイブ

02 EXPO'70映像アーカイブ

03 ALFA（＝ABCリブラフィルムアーカイブ）

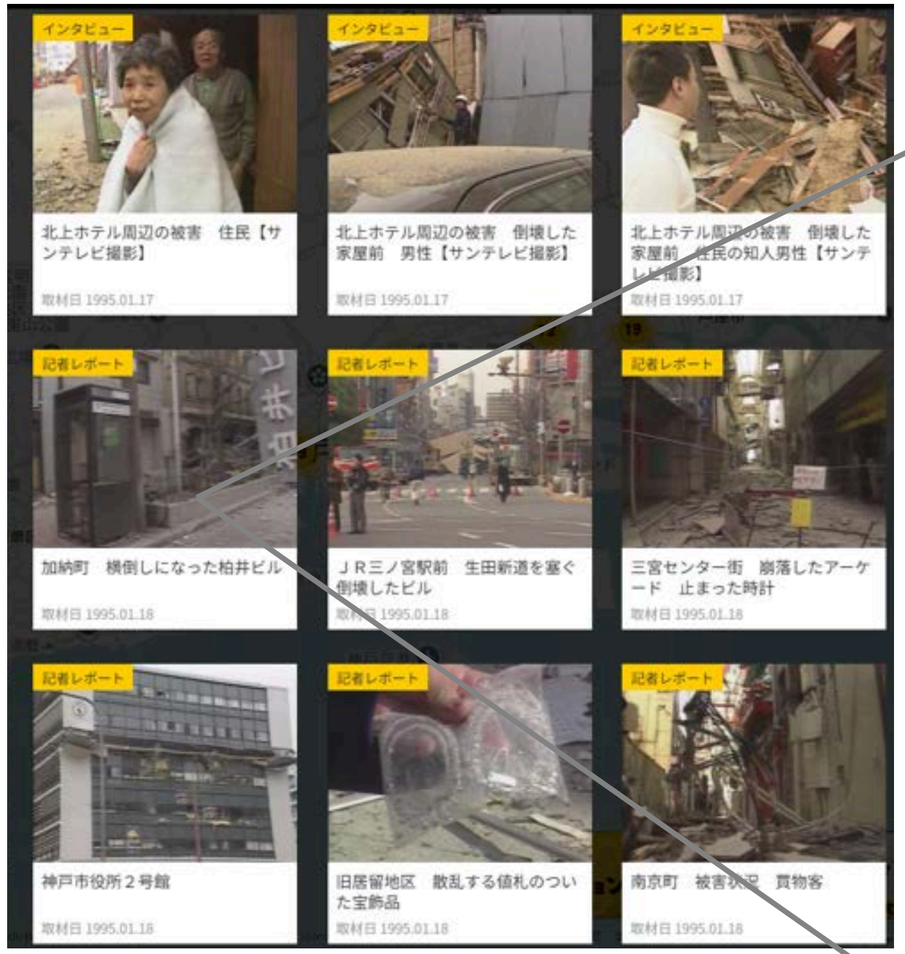
01 阪神淡路大震災取材映像アーカイブ

https://www.asahi.co.jp/hanshin_awaji-1995/

将来の防災・減災のために
いつでも震災の映像を見ることができるようにすることが
地元放送局の使命であると考え、
阪神淡路大震災から25年の節目である2020年、
CSR活動の一環としてウェブサイトで映像を公開。

01 阪神淡路大震災取材映像アーカイブ

01 阪神淡路大震災取材映像アーカイブ



阪神淡路大震災
激震の記録1995
取材映像アーカイブ

記者レポート

加納町　横倒しになった柏井ビル

キーワード　家屋倒壊　取材日　1995.01.18　場所　神戸市中央区 加納町 柏井ビル

Ｒ：一夜明けた神戸の中心地、三宮周辺です。とにかく大変な被害です。巨大なコンクリートのビルが根元からごっそり横倒しになっています。烈震の衝撃をまともに受けた形です。

実はこのビル、昨日は少し傾きはしていたものの、とても倒れるような気配はありませんでした。しかし今朝来てみるとこの通り、元は何階建てだったんでしょうか、一番上の階の部分が向かいのビルに突き刺さるような形で倒れています。このビルに行く手を塞がれたメイン道路は、１キロ近くに渡ってヒビが入り完全に機能を失っています。

01 阪神淡路大震災取材映像アーカイブ

映像公開までの道のり　～権利処理～

著作権

朝日放送に保存されていた映像は２種類

①番組の同時収録

公開するには
音楽や番組出演者などの権利処理が必要

→ 25年も前の音楽や出演者の権利処理は
難航することが予想されたため、
基本的には公開の対象せず

②素材

朝日放送のカメラマンが取材した映像、
系列局が応援に入って取材した映像、
サンテレビジョンの取材映像が存在

→ 音楽やナレーションもついておらず、
撮影した放送局に了承を得ることのみで
著作権の処理が可能であったため、
公開対象に

01 阪神淡路大震災取材映像アーカイブ

映像公開までの道のり　～権利処理～

肖像権

映像に映りこんでいる被災者の肖像権の処理が課題に…

25年が経過した段階でその人物をすべて探し出して許諾を取ることは不可能と判断

肖像権には明文化された法律がない

あくまで撮影や公開の目的や必要性等と、
撮影された人の人格的利益の侵害の度合いを比較して、
受忍限度を超えるかどうかでその違法性が判断される

01 阪神淡路大震災取材映像アーカイブ

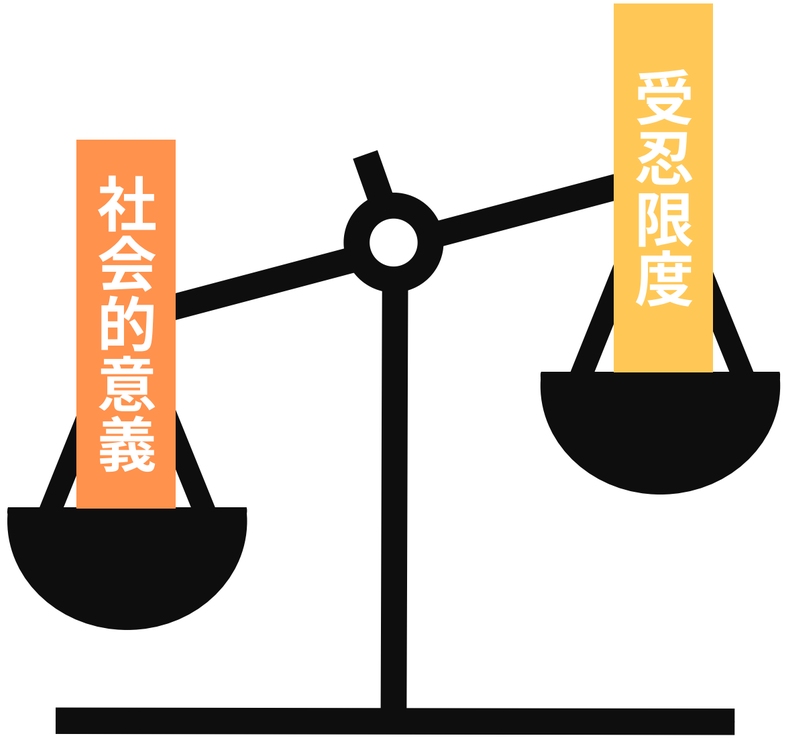
映像公開までの道のり　～権利処理～

肖像権

受忍に影響を与えるのは…

何のために公開するかという
「社会的意義」ではないか？

その意義を確認するためのプロセスを実施



01 阪神淡路大震災取材映像アーカイブ

映像公開までの道のり　～社会的意義確認のプロセス～

肖像権

- 学生ワークショップ
- 有識者による研究会
- デジタルアーカイブ学会が発表している肖像権ガイドラインに基づく試算
- 受忍レベルの確認作業

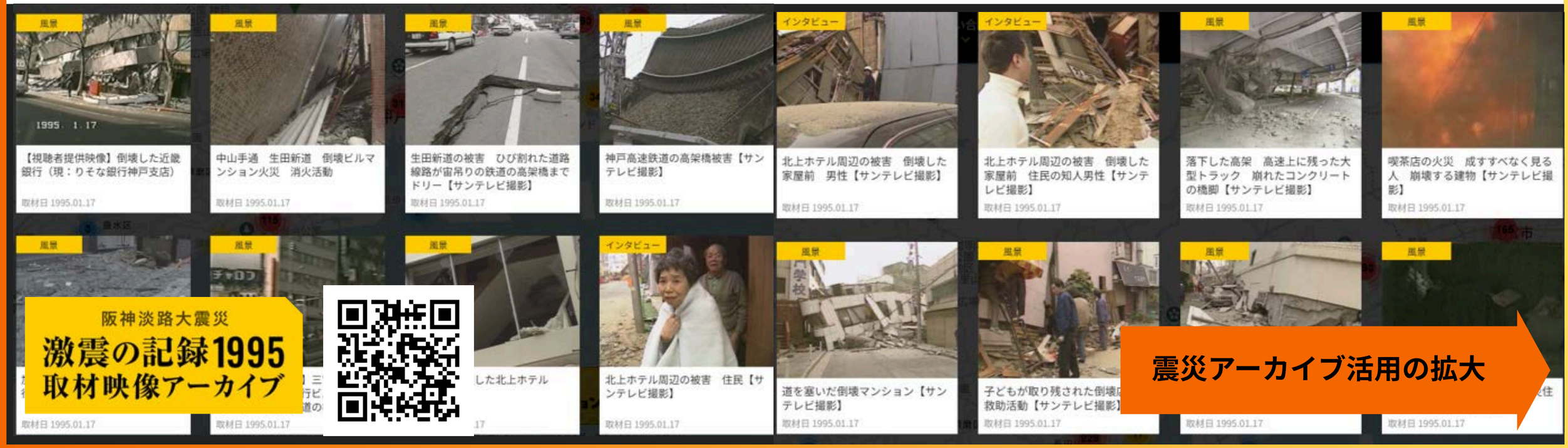
原則として映像を加工せず公開

※一部必要なものに限ってモザイクをかけるなど最低限の配慮を行って公開

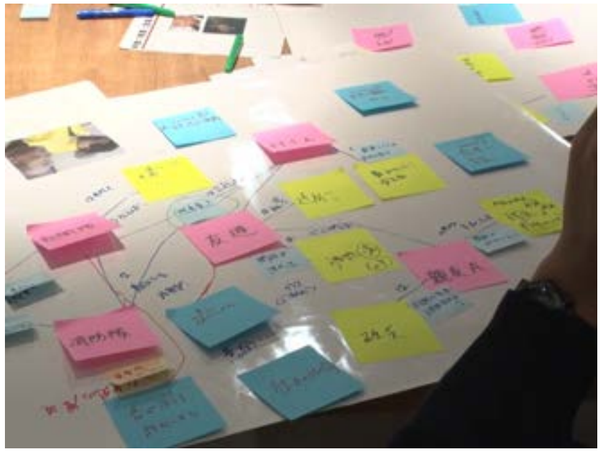
01 阪神淡路大震災取材映像アーカイブ

阪神淡路大震災取材映像アーカイブ公開を通して

震災直後のありのままに近い被災状況を記録した貴重な映像を公開できた
放送局として記録を未来へつなぐうえで、大きな意味を持つ取り組みに



01 阪神淡路大震災取材映像アーカイブ



学校や地域
企業などの防災教育

書籍『スマホで見る阪神淡路大震災』

eラーニングサイト

番組での利用

AIによる検索機能を追加

01 阪神淡路大震災取材映像アーカイブ

朝日放送グループ 世界に発信する
「防災」の未来設計図
ABC Group A Future Vision of Disaster Prevention to Share with the World

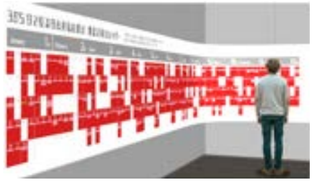
イベントHPはこちら

【開催日時】 2025/9/1（月・防災の日） ～ 9/4（木）
【会 場】 大阪・関西万博会場内、ギャラリーWEST

https://www.asahi.co.jp/bosai/event2025/

第1展示室
震災アーカイブ企画展示

- 日本の地震カレンダー
- 最新！AIレコメンド機能体験
- VRドームシアター
- 被災者の声に聞く災害教訓



屋外展示スペース
避難所デザインラボ

阪神淡路大震災の取材映像アーカイブに
含まれた教訓に学んで、
避難所や避難生活にあったらいいモノを
展示。

災害用伝言ダイヤルを使ったゲームに
参加して素敵な景品をゲットしよう！

第2展示室
シンポジウム・公開収録

9月1日（月・防災の日）
午後1時～（同時配信予定）
国際シンポジウム「災害を伝える アーカイブと放送局の役割」

9月2日（火）
午後1時～
ラジオ公開収録「ABCラジオぼうさい部特番」

9月3日（水）
午後2時～
シンポジウム「世界遺産 法隆寺と文化財防災の未来」
～シルクロードの記憶が結ぶ、新たな連携～

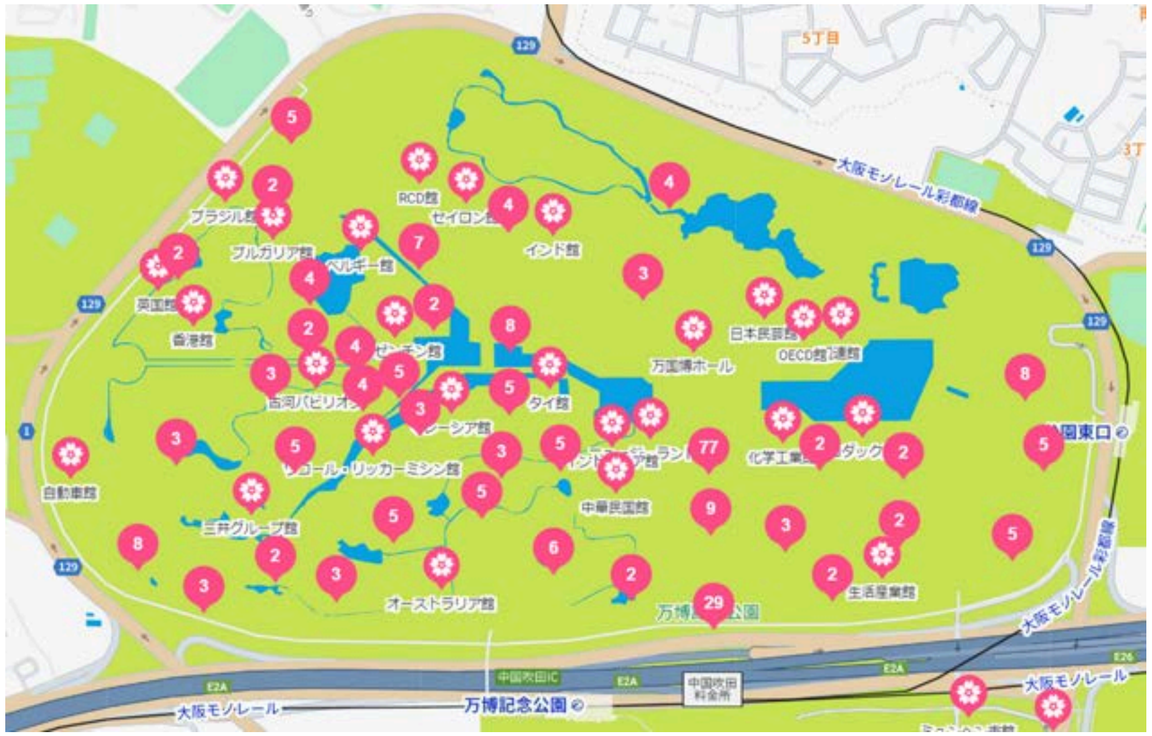
02 EXPO'70映像アーカイブ

EXPO'70
映像アーカイブ
～6000万人が見た未来～

https://www.asahi.co.jp/expo70_archive/

2025年大阪・関西万博の機運醸成を図るプロジェクト
民放の中では特に深く70年万博にかかわったABCは、
膨大なライブラリー映像を公開するべく、
2022年4月「EXPO’70映像アーカイブ～6000万人が見た未来～」を開設

02 EXPO'70映像アーカイブ



マップ画面

詳細画面

EXPO'70
映像アーカイブ
～6000万人が見た未来～

02 EXPO'70映像アーカイブ

検索画面

●映像の種類を選ぶ
パビリオン外観、パビリオン館内、会場雑感、ナショナルデー、
イベント、出来事、空撮、夜、インタビュー・レポート、コンパニオン、その他

●期間を選ぶ
開幕前、開幕日、会期前半、会期後半、閉幕日、閉幕後、時期不明

●場所を選ぶ

●キーワードで検索

2025年8月時点
306コンテンツを公開

02 EXPO'70映像アーカイブ

映像公開までの道のり　～権利処理～

映像の著作権

すべて朝日放送テレビが保有

→ライツセクションの判断
　のみでクリア

関係各所への了承取り

イベントの主催機関である
大阪府や万博協会へ連絡

レポーターの
末広真樹子さんへ連絡

肖像権

一般人の肖像権
デジタルアーカイブ学会の
ガイドラインに沿って公開判断

ex) 歴史的行事（＋20）
万博会場という公共の場での撮影（＋15）
一度は放送で公表されている（＋10）
撮影後50年以上経過（＋40）

02 EXPO'70映像アーカイブ

映像公開までの道のり　～権利処理～

パビリオン外観

公共の場からの撮影と
捉えて公開判断

パビリオン館内

著名な作家が手がけたオブジェの展示、映像作品の上映

→リスク回避のため映像を見て著作物をピックアップし、
　権利を保有していると思われる企業や団体に連絡を取って了承をもらう
※インターナショナル・プレースは、日本が建設した公的な施設として公開

**公開不能となったコンテンツ、
権利処理に時間がかかるコンテンツが
多数発生する**

館内映像公開にあたっての課題

施設管理権者へ了承取りをするも、
現在では先方に当時のことが分かる担当者がいない

公開判断できる部署がない

外国館については担当者が外国の方であることが多く
外国語での対応を求められる

02 EXPO'70映像アーカイブ

EXPO'70アーカイブ公開を通して

EXPO'70
映像アーカイブ
～6000万人が見た未来～

https://www.asahi.co.jp/expo70_archive/

ニーズの発見

- 出展企業から、社内公開用の映像貸出依頼
- 「博物館の特別展においてアーカイブ公開した映像を使いたい」などの希望

→ 映像を公開することによって二次利用ニーズが喚起できる可能性

時間経過による権利処理の複雑さ

撮影から時間が経過するほど、権利者の承諾取得は難しくなる

→ アーカイブ情報の定期的なメンテナンスが必要

03　ALFA（＝ABCリブラフィルムアーカイブ）

ABCリブラ
フィルムアーカイブ

https://www.abclibra.co.jp/work/library/

弊社エー・ビー・シーリブラが著作権を持つ
1960～80年代制作の約1000本の番組群を
「ABCリブラフィルムアーカイブ＝ALFA」と名付け、ホームページで公開
映像の利活用の幅を広げることを目指す

03　ALFA（＝ABCリブラフィルムアーカイブ）

番組群の概要

1960～80年代　「朝日放送」で放送された3分～11分の番組
朝日放送から、制作会社：Ａ社に発注

全国各地の 観光名所や旧跡・銘菓・郷土料理
「くらしの泉」

国内・海外の料理・風物
「おいしい旅」 「世界・あじの旅」

京都の街並み
「京に生きる」 「古都は生きている」 「もうひとつの京都」

芸術家の創作過程
「アトリエを訪ねて」 「美を創る」

民芸工芸品を作る職人とその生活
「この人このわざ」 「日本の民具」 「民芸をたずねて」

03　ALFA（＝ABCリブラフィルムアーカイブ）

番組名：アトリエを訪ねて　詳しく見る ＋

放送時期：1973年～1975年 尺：11分	概要：　画家，彫刻家，陶芸家などのアトリエを訪問しその作品と製作風景を作者の話をまじえながら紹介する

番組名：美を創る　詳しく見る ＋

放送時期：1975年～1978年 尺：11分	概要：　芸術家の仕事場（アトリエ）を訪ね、作品と人なりを紹介する。

番組名：この人このわざ　詳しく見る ＋

放送時期：～1968年 尺：11分	概要：　日本の伝統工芸を支える 職人の技を毎回紹介する。

番組名：民芸をたずねて　詳しく見る ＋

放送時期：1964年 尺：11分	概要：　日本各地の民芸を支える職人を紹介する。

ABCリブラ
フィルムアーカイブ

https://www.abclibra.co.jp/work/library/

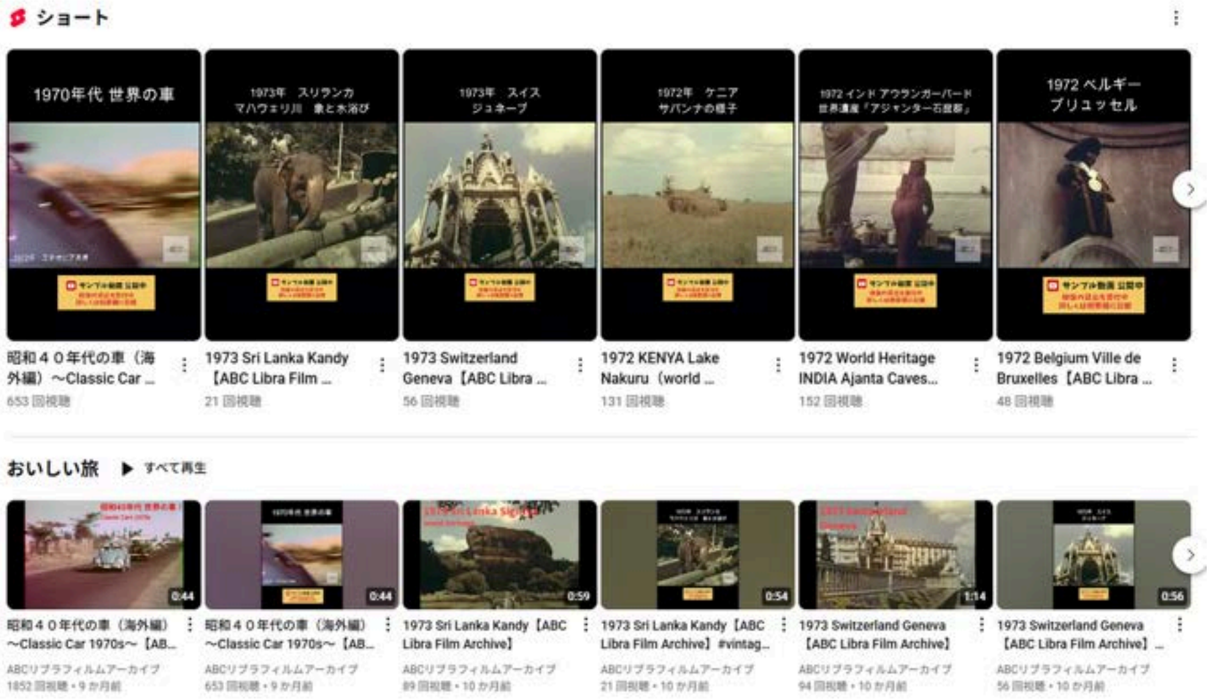
番組名：アトリエを訪ねて　閉じる ×

放送時期：1973年～1975年 尺：11分	概要：　画家，彫刻家，陶芸家などのアトリエを訪問しその作品と製作風景を作者の話をまじえながら紹介する

内容一覧

東山魁夷	楠部弥弌	福沢一郎	榊莫山	中里隆	月山貞一	西山英雄	黒崎彰	山本豊市	黒田辰秋
芥沢鉦介	八木一夫	片岡球子	元永定正	浜田庄司	新宮晋	平良敏子	上村松篁	志村ふくみ	横尾忠則
北川民次	三輪龍作	三尾公三	木内克	儀間比呂志	香月泰男	堀内正和	浅見隆三	山口長男	田辺竹雲斉
高山辰雄	宇佐美圭司	森田子龍	多田美波	織田広喜	森口華弘	伊藤隆道	吉原英雄	増村益城	平山郁夫
平櫛田中	小野竹喬	堀柳女	高松次郎	津高和一	飯田善国	坪井明日香	長野垤志	橋本明治	松田権六
木村光佑	オノサト・トシノブ	各務鉱三	浜田知明	藤原啓	岡本信治郎	篠田桃紅	謹嘯	城間栄喜	鈴木治
小松均	永井一正	金城次郎	村上三島	宇野三吾	炭山南木	井上覚造	塚本快示	川端近左	安東聖空
山口華楊	高鶴元	澤田政廣	下村良之介	田村孝之助	氷見晃堂	清水卯一	角谷一圭	徳力富吉郎	北村西望
手島右卿	丸木位里	田中塊堂	皆川月華	小山敬三	木村盛和	町春草	加藤卓男	郷倉千靭	加山又造
14代目坂倉新兵衛	田中慧月	穐山竹司	中里太郎右衛門１３代目	畦地梅太郎	面屋庄三（岡本庄三）	池田遥邨	小山冨士夫	小坂奇石	川西祐三郎
金子三八子	伊藤継郎								

03　ALFA（＝ABCリブラフィルムアーカイブ）



ABCリブラ
フィルムアーカイブ

https://www.abclibra.co.jp/work/library/

←YouTubeはこちら

https://www.youtube.com/channel/UC3tfmEBnCSyut2ahSzHlNjA

03　ALFA（＝ABCリブラフィルムアーカイブ）

映像公開までの道のり

ポイント①著作権はABCリブラに譲渡されたのか

著作権

制作会社：A社
（倒産済）

制作会社：B社
（倒産済）

ABCリブラ

※フィルムをファイル化した状態で保存

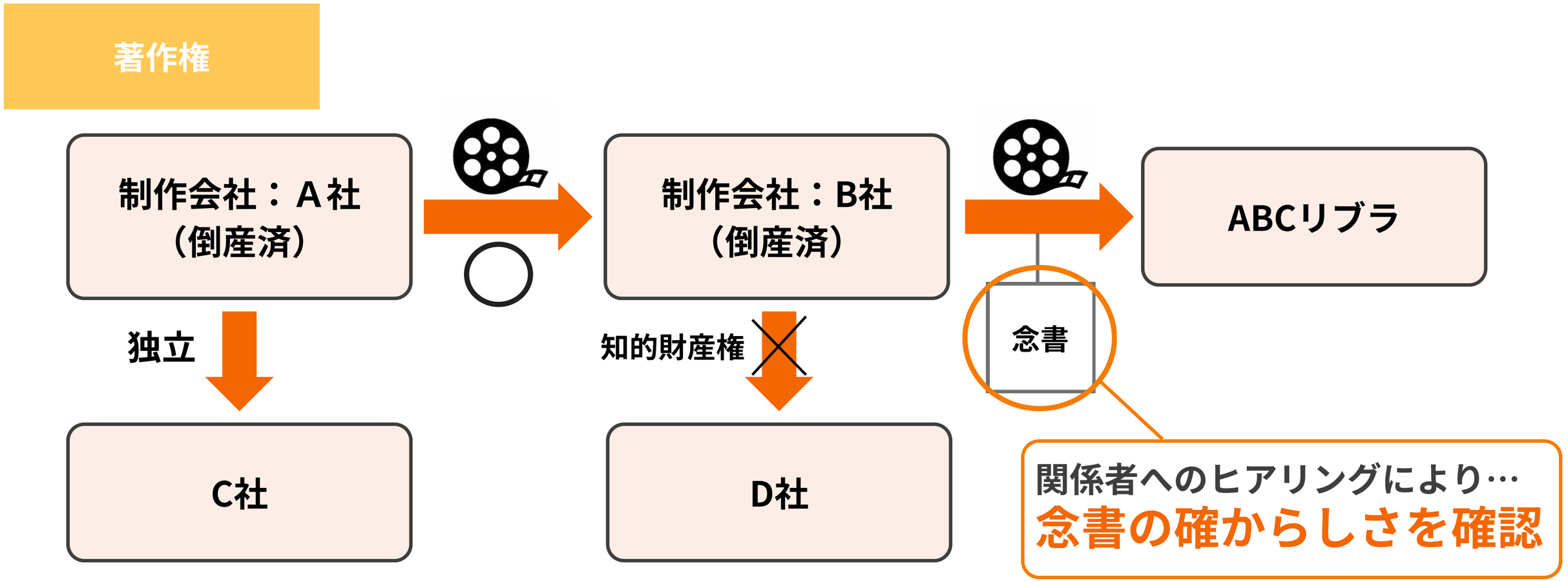
念書：
平成７年付
権利とフィルムを譲渡

念書だけでは
譲渡されたと言い切れない…

03　ALFA（＝ABCリブラフィルムアーカイブ）

映像公開までの道のり

ポイント①著作権はABCリブラに譲渡されたのか



03　ALFA（＝ABCリブラフィルムアーカイブ）

映像公開までの道のり

ポイント②著作権者は本当にA社なのか（朝日放送が持つ可能性は？）

著作権

朝日放送テレビに残された、旧A社と結んだ契約書の一部を参考にして協議。

①当時の発注書が残っており、A社に著作権があったと判断できるもの

②当時の契約書が残っておらず、朝日放送テレビが著作権を有する可能性が残るもの

＋ 一部の番組については、放送番組センターが著作権を有する可能性が浮上…

03　ALFA（＝ABCリブラフィルムアーカイブ）

映像公開までの道のり

ポイント③放送番組センターとの関係

著作権

一部の番組の映像内には「放送番組センター」のクレジットあり

放送番組センター

- 1968年に設立されたNHKと民間放送局が設立資金を共同で拠出した機関

- 放送事業の免許交付にあたっては、教育番組・教養番組を放送することが条件になっていたが、
  当時開局が相次いだ地方局はまだまだ制作・編成力に乏しく、
  こうした番組の調達が難しいと考えられたため、放送局に教育・教養番組を供給する役割を果たす

03　ALFA（＝ABCリブラフィルムアーカイブ）

映像公開までの道のり

ポイント③放送番組センターとの関係

著作権

放送番組センターに問い合わせて事業報告書を調べてもらうと…

●制作番組
放送番組センターが企画して放送局や制作会社に番組制作を発注し、著作権は放送番組センターが持つ

●協賛番組
放送局が企画し、放送番組センターは制作費の半分を補助、著作権は放送局が持つ

●購入番組
放送局が制作した既存の番組の中から、放送番組センターが「購入基準」に該当する教育番組を選び、5年間の国内放送権を譲渡してもらう。5年間の配給期間を終えた番組は制作局に返却。

03　ALFA（＝ABCリブラフィルムアーカイブ）

映像公開までの道のり

ポイント③放送番組センターとの関係

著作権

放送番組センターに問い合わせて事業報告書を調べてもらうと…

●制作番組

放送番組センターが企画して放送局や制作会社に番組制作を発注し、著作権は放送番組センターが持つ

「若い群像～青少年を考える」は制作番組
当社に著作権がないことが明らかに
当面の利活用の対象から外す

03　ALFA（＝ABCリブラフィルムアーカイブ）

ALFA公開を通して

ニーズの発見

利活用の可能性が最も高い
映像に映っている企業やお店、著名人のパブリシティ権を管理する関係先に積極的に連絡

→ 幾ばくかのマネタイズが実現
企業や博物館などから利活用の申し出があり、貸出に繋がっている

権利が不透明なアーカイブ映像も公開するには…

公的機関とは違って民間企業のアーカイブは
企業の経営環境によっては第三者に譲渡される可能性も…

→ 関係者や関連資料を丁寧に整理し、公開の可能性を広げる

阪神淡路大震災
激震の記録1995
取材映像アーカイブ

https://www.asahi.co.jp/hanshin_awaji-1995/

EXPO'70
映像アーカイブ
～6000万人が見た未来～

https://www.asahi.co.jp/expo70_archive/

ABCリブラ
フィルムアーカイブ

https://www.abclibra.co.jp/work/library/